

- 1 弥生時代に大陸から伝わり、実用品ではなく主に祭祀の道具として使われた青銅器のうち、釣鐘のような形をしたものを何という？  
① 銅矛      ② 銅剣      ③ 銅鐸      ④ 鏡
- 2 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？  
① 近畿地方      ② 九州地方      ③ 東北地方      ④ 中国地方
- 3 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？  
① 武帝      ② 始皇帝      ③ 玄宗      ④ 光武帝
- 4 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？  
① 青銅器      ② 石器      ③ 鉄器      ④ 土器
- 5 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？  
① マケドニア王国      ② クシャーナ朝      ③ ローマ帝国      ④ パルティア
- 6 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？  
① 土器      ② 鉄器      ③ 青銅器      ④ 石器
- 7 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？  
① 木器      ② 石器      ③ 土器      ④ 金属器
- 8 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？  
① 漢鏡      ② 銅鐸      ③ 小形仿製鏡      ④ 三角縁神獣鏡
- 9 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？  
① 前漢      ② 西晋      ③ 後漢      ④ 魏
- 10 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式的道具として発展した？  
① 農耕      ② 狩猟      ③ 交易      ④ 祭祀
- 11 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？  
① 狩り      ② 祭り      ③ 戦い      ④ 交易
- 12 1世紀に中国へ使いを送ったことが歴史書に記された、いまの福岡県あたりにあったとされる倭の国を何という？  
① 奴国      ② 邪馬台国      ③ 伊都国      ④ 狗奴国
- 13 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？  
① 日本書紀      ② 風土記      ③ 魏志倭人伝      ④ 古事記
- 14 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？  
① 対馬      ② 志賀島      ③ 種子島      ④ 壱岐
- 15 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？  
① 銅矛      ② 鏡      ③ 銅剣      ④ 銅鐸



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

| 問  | 解説                                                                                       | ▼ここで折る | 答え             | 言えた                      |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------|--------------------------|
| 1  | <b>銅鐸</b> は主に近畿地方を中心に多く出土しており、祭祀の道具として用いられました。                                           |        | 3 <b>銅鐸</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 2  | 青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。                          |        | 2 <b>九州地方</b>  | <input type="checkbox"/> |
| 3  | 当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である <b>光武帝</b> は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。    |        | 4 <b>光武帝</b>   | <input type="checkbox"/> |
| 4  | <b>青銅器</b> は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに鋳造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。 |        | 1 <b>青銅器</b>   | <input type="checkbox"/> |
| 5  | <b>ローマ帝国</b> は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。                                |        | 3 <b>ローマ帝国</b> | <input type="checkbox"/> |
| 6  | 鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。                                       |        | 2 <b>鉄器</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 7  | <b>金属器</b> には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。                                                       |        | 4 <b>金属器</b>   | <input type="checkbox"/> |
| 8  | <b>漢鏡</b> は、中国の漢王朝で鋳造された銅鏡で、高い鋳造技術による精巧な文様が特徴です。                                         |        | 1 <b>漢鏡</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 9  | 志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、 <b>後漢</b> の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。                      |        | 3 <b>後漢</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 10 | 青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものも多く、主に <b>祭祀</b> の場で神聖な道具として使われました。                  |        | 4 <b>祭祀</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 11 | 銅鐸は、このような <b>祭り</b> の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。                      |        | 2 <b>祭り</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 12 |                                                                                          |        | 1 <b>奴国</b>    | <input type="checkbox"/> |
| 13 | 魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 <b>魏志倭人伝</b> 』と呼ばれます。                          |        | 3 <b>魏志倭人伝</b> | <input type="checkbox"/> |
| 14 | 後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の <b>志賀島</b> で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。                |        | 2 <b>志賀島</b>   | <input type="checkbox"/> |
| 15 | <b>銅鐸</b> は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。                                             |        | 4 <b>銅鐸</b>    | <input type="checkbox"/> |

言えなかった用語ノート